

第1学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(1)

番号	1	2	3	4	5	6
講座名	浦安學	パソコン検定(仮)	実用書	SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)	ウォーキング	数学 演習
定員	20名	20名	20名	10名	15名	20名
講座内容	浦安市郷土博物館と連携して、学校所在地でもある浦安の伝統技術や遊び、技術などを学ぶ。また、指導して頂く「もやいの会」も方々とのふれ合いから、人間関係の構築についても学習する。	コンピュータに関連する検定の受験を目指す。実際の受検は2年生以降を想定している。現在はいわゆる「P検」を予定している。また、コンピュータ室は利用せず、教室での座学を主体にする予定である。どうしても必要な場合は、希望者のみ放課後にコンピュータ室を利用させることを考えている。	小筆、ペン字を中心に硬筆、封筒、はがき、表書き、履歴書の書き方を学ぶ。	社会性を高めるプログラムの実践(良好な対人関係を築く訓練)。	正しい姿勢、正確なフォーム、によるウォーキングを行い、健康増進をはかる。	授業で習い終えている範囲について問題演習を行い、入試問題へとつなげていく。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	やってみなければわからない。郷土博物館や「もやいの会」の型とも打ち合わせないとうわりません。	コンピュータに関する知識を得られるとともに、検定に合格すれば公認の資格として、自らのスキルアップに役立てることができる。	くらしの中の書に親しむことができ、書写能力を高められる。	社会性を高めることができる。	生涯続けられる健康運動の基礎・基本を学び、健康の維持増進について考えることができるようになる。 また、身体を動かす楽しさを経験することができる。	数学の実力アップを図る。
評価の方法	出席と、技術の習得状況、活動状況など	出席状況と小テストで評価する。	取り組み状況、提出物	出席・取り組み状況を評価する。	出席・授業態度を総合的に評価する	テスト演習

第1学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(2)

番号	7	8	9	10	11
講座名	パズル	株式の学習	英単語にチャレンジ	大学受験のための英単語	基本的な英単語の学習
定員	20名	20名	20名	20名	20名
講座内容	クロスワード、ナンバープレート、イラストロジック、ナンバークロスなどの定番のパズルや、頭の体操になる問題を解く。	株の仕組みや株の売買についての知識を高める。	毎時間25の英単語にチャレンジします。まず発音練習をし、日本語での意味を確認します。次に例文の中での使われ方を学びます。そして最後に単語を4回、意味を1回書いて覚えます。次の時間の最初に、その英単語25の中から10問の小テストを行い、覚えたかどうかの確認を行います。	毎回単語を書いて練習し、テストをする。	中学校で学習した英語を復習する。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	パズルを解くコツがわかる。頭が柔らかくなる。	株式の売買の仕組みがわかる。	英単語を覚えることにより、語彙数が増え、英語を話す力、聞く力、英文を読む力、書く力を向上させることができる。	大学受験に対応できる単語を身につけることがねらいです。	中学校の英語が分かるようになる。
評価の方法	授業態度、授業への取り組み、出欠状況などを総合的に評価する。	株式売買の記録表や元金がどの程度増減したかで評価する。	出欠席、授業に参加する態度、英単語プリントへの取り組み、小テストの成績を参考にしして評価します。	毎時間のテストと授業態度を総合的に評価する。	テスト、授業態度。

第2学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(1)

番号	1	2	3	4	5	6
講座名	ジョギングを楽しもう	健康を考える	文学作品『赤毛のアン』を観る～英語を聴く力を養成～	スターダストファンタジー	浦安高校植物図鑑づくりPart 2	キーボード(ピアノ)の基礎
定員	20名	20名	20名	10名	15名	10名
講座内容	生涯教育を見据えて走ることの楽しさや自分自身の体に興味、関心を持たせるようなストレッチを含めた身体活動を行う。	科目の「保健」から、重要とされる内容についてさらに学び、健康について自分のためだけでなく家族や他者のための働きかけができる資質向上を図る。(生活習慣や行動と健康、ストレスなど)	映画を観て、英文を書き取ったり、登場人物の気持ちを考えたりする。文学作品を通して、人間関係の構築についても学習する。	星(恒星や惑星)や星座(ギリシャ神話も含む)について学習する。実際プラネタリウムを鑑賞するだけでなく、班に分かれて星空案内人として解説発表も行う。	浦安高校肯定の植物について調べる。季節が秋～冬なので、樹木の樹皮や芽を中心に観察し、スケッチ、解説文の作成、落ち葉を使ったの葉脈標本づくりを行う。	キーボード実技。初心者の人は音符の読み方や指使いの基本から、経験者の人はそれぞれの力に応じた楽曲を演奏できるようにレッスンします。基本的には個人練習・個人レッスンで展開します。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	高校卒業後も体力の維持増進を心掛け、健康的な生活を送れるようになる。	自他ともの健康に対する意識が持てるようになる。できるだけ実行に結びつけられるように促す。	文学作品を勉強し、その内容について自分なりの考えをもつ。	星空を眺める機会が少ない生徒が、プラネタリウムを利用することによって、室内にいないながら、夜空を体感することができる。また、班による発表を行うことにより、コミュニケーション能力なども深まると考える。	物事を観察し、図や文をまとめあげる力、調べる力を育成できる。	ピアノ実技の基本が学べます。また、演奏するには楽譜を読むことが必須ですので、楽譜を読む力がつきます。
評価の方法	いかに自主的、前向きに自分の体をケアしながら取り組んでいるかに重点を置く。	取り組み状況にて評価する。	出席と、技術の習得状況、活動状況など	出席率や授業態度及び発表時の取り組みなどで評価を行う。	取り組み状況、作成物の出来具合(観察力や文章の適否等)で評価する。	レッスン時の課題の取り組み、練習の状況、楽曲の仕上がりに、出欠の状況の評価します。

第2学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(2)

番号	7	8	9	10
講座名	夏目漱石「こころ」を読む (人は人にどう接しようとするのか)	世界の地理	数 演習	ロボット製作～電子工作の基礎
定員	20名	15名	20名	15名(昨年度選択者は除く)
講座内容	「私はその人を常に先生と呼んでいた。...その人の記憶を呼び起こすごとに、すぐに先生と言いたくなる。...よそよそしい頭文字などはとても使う気にならない。」=夏目漱石の小説「こころ」のはじまりの部分である。「こころ」を中心のテキストとして、現代人が友人や知人を「利用する」ことと「人としてつきあっていく」ことの違いについて考えながら読んでいく。考えを広げていく参考資料として「江戸しぐさ入門」(マンガ版)と「下流志向」(内田樹)も使用。昨年度「ことばと実際について」の続編。	「画像と文字を結びつけると脳に定着する確立が高まる」という考え方に基つき、地図を媒体に、世界の国々・地形・自然・特産物・歴史などを覚えるトレーニングです。希望者の条件は、地図帳があり、地図を見るのが好きで、向上心のある人です。	数の演習を、基本をチェックしながら行う。(レベルは少し高めを設定する。やる気のない人はおことわり)	電子工作キット(2100円科学教材社)を購入してもらい、製作します。キットはライントレ-スロボット(白い紙に書かれた黒い線をセンサ-でたどって進む)です。製作にはハンダ付けが必要です。ハンダ付けの練習をしてから製作にはいりますので、経験のない人でも大丈夫です。完成したら全員でライントレ-ス競技会を行う予定です。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	われわれをとりまく世界の困難な問題点を認識するとともに、この先の生き方や心のありようを問うことができるようになる。	何度も繰り返すことで、記憶力の増進につながる。	数の重要事項が再確認でき、就職、進学に対する準備にもなる。	ハンダ付けなど、電子工作の基礎を学べます。完成して動いたときの感動を味わえます。もちろん完成したロボットは持ち帰りOKです。希望者はさらに別のキット製作ができます。
評価の方法	発言や質問など毎回の講座での学習の取り組みと姿勢、意見文などの提出物などで評価す	取り組み状況。正答数の伸び。	授業で扱った問題の類題を試験し評価する。	手順を考えて製作したか。電子工作技術の基礎を身に付けたか。

第3学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(1)

番号	1	2	3	4	5	6
講座名	チャレンジ「危険物取扱」免許を取ろう	プレゼン能力養成講座	英語の語彙を増やそう	顕微鏡マスター講座	書写と読解で楽しむ「奥の細道」	名作を読む
定員	20名	20名	20名	15名(既受講者除く)	17名	20名
講座内容	危険物取扱従事者の取得を目指し学習する。	自分の意志を確実に豊かに相手に伝える言語運用能力をスキルアップし、目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりする能力を養成する。そのために、スピーチを取り上げ学習し、実際のプレゼンテーションまで実施する。言語活動のみにとどまらず、視覚や、言語以外の聴覚などとリンクさせ、同時に情報リテラシーの学習もおこなう。具体的には、「話し方」「作文」「演出(手法)」「プレゼンテーション」に取り組む。	毎回40～50程度の英単語について、意味・スペルなど各自練習し覚える。時間の最後に、その時間で練習した単語について的小テストを行う。	顕微鏡の扱いを基礎から学び、応用までできるようになる。昨年度の内容と同様なので、 <u>昨年の受講者は、選択できない。</u>	書家の記した、松尾芭蕉の「奥の細道」を鉛筆で書写しながら、芭蕉の「奥の細道」に思いをはせる。毎回、書写しながら、その部分の紀行の説明をする。費用は、1100円程かかる。	「舞姫」・「なめとこやまの熊」・「心」などの文章を黙読したり、音読したり、文章を写すなどの作業をする。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	免許を取れるようになることと、学習する方法を身につける。	他者意識をはっきりと持って、自分の考えを相手に伝える能力が身に付く。	単語力を養うことにより、教科書、問題集、或いは受験問題などの英文の理解が容易になる。	顕微鏡の取り扱いを習熟することができる。	書家の記した手本をなぞることによって、書写の上達をはかる。また、俳諧紀行文「奥の細道」の内容を読解してゆことで、芭蕉の思いを学びまた古典学習の助けとなる。	様々な文章のスタイルを知り、文章を書く力をつけ、また聞く力も身につけることができるようになる。
評価の方法	学習態度を総合的に評価する。	ワークシート、論文、プレゼンテーション完成度を総合的に評価。	講座への取り組み、練習意欲、小テストの結果などを総合的に判断して評価する。	毎回提出のレポート、及びパフォーマンステスト、最終日の確認テストによって評価を行う。	毎回書写したものと、当日やった紀行文の感想の内容により評価する。	黙読、音読、聞く態度などを総合して評価する。

第3学年対象『チャレンジレッスン』開講講座の紹介(2)

番号	7	8	9	10	11
講座名	キャリアデザイン	やさしい『生理学』入門	切り紙講座	世の中の常識、マナー、豆知識	センター入試対策(英語)
定員	20名	15名	20名	20名	20名
講座内容	NHK教育テレビ番組「明日をつかめ」(26分間)を活用し、その中からいくつかの代表的な職業を取り上げ、職業理解を深めるとともに、そのために必要な資質や能力、適性や資格について研究をすすめる。また、ビジネスマナーについて、問題演習を通して理解を深めていく。 * H18年度「職業研究」受講者の登録は不可。(重複する部分があるため)	自分の身体(骨格筋や・臓器など)の特徴や機能について知り、運動時や日常生活における人間の生理学的基礎知識について学ぶ。	切り紙を体験し、教養を深めます。日本やその他の国の基本的な技法例を演習として行い、最終的にオリジナル作品を制作します。実費が400円かかります。(色紙・台紙・ファイルケース)	日常生活における常識やマナーなどを教える。	センター入試の英語の過去問題や予想問題を解析していく。問題集を利用するので、教材代が1500円位かかるかも知れないので、一応念頭に入れておくこと。出席を重要視するので、毎回出席を強要する。すべからく、受験者の益にならんと願うからである。
講座を受講することによって、どのようなことができるようになるか。	職業に対する理解を深めるとともに、その職業に必要な資質について考え、自らの勤労観や職業観を身につけられるようにする。また、VTR感想録を記入することで、短時間で自分の考えを文章にまとめられるようにする。さらに、電話の受け方、敬語、接客方法、書類の書き方など最低限のビジネスマナーを身につけられるようにする。	骨格筋や臓器など基本的な身体部位の名称が覚えられる。それらの臓器の解剖学的要素(色・形など)や生理学的要素(機能面)などの知識を掘り下げることができる。上記の身体の諸機能が運動時や日常生活時にどのように変化をするのか知ることができる。	教養を深め、感覚を磨きます。切り紙達人になれるかもしれません。	生活の中で生かすことにより、気持ちよく過ごしていけるかも知れない。	来年のセンター入試を受験する生徒に入試内容を精通せしめ、多くの問題を自分の力で解答ができるように自信を持たせる。
評価の方法	毎授業ごとに課題(感想録等)を提出し、その成果物及び出席、授業態度をもとに総合的に評価する。	授業への取り組み、課題の提出状況をみて評価する。	作品と取り組む態度。	簡単なテストを行いどれくらい身につけているか確認し、評価としてどうかと考えている。	毎回の練習問題の成績を評価する。自己進捗度を評価する。出席を評価の対象とする。